
2022年8月から2023年3月第1週までの マスク着用と着用意向

2023年3月13日

仲田泰祐（東京大学）
高久玲音（一橋大学）

分析

- 新型コロナウイルス感染症との向き合い方が時間と共に変化中、今後のマスク着用について注目が集まっている。
- 本レポートでは、2022年8月から週次で行っているマスクに関するアンケート調査の中間結果を報告
 - マスク着用のこれまでの客観的に把握
 - マスク着用のこれからを考える材料

アンケート調査の概要（1）

- アンケート調査の概要
 - クロスマーケティング社
 - 2022年8月第2週から毎週調査
 - 各調査は20歳から79歳の個人に配布。男女比と年齢構成比が国勢調査と等しくなるように回収
 - ここでは、2023年3月第1週までの結果を報告
 - 本アンケート調査は、東京大学倫理審査専門委員会に申請し承認を取得している（申請番号：22-424）。
- アンケート調査の特徴
 - 高頻度で長期にわたり継続
 - 「着用しているか否か」だけでなく、「着用すべきだと思いか否か」も調査
 - 様々な場面ごとの着用状況と着用意向を調査

アンケート調査の概要（2）

■ 着用状況

- 実際にここ1週間でマスクを着用していたか？
- 「全くしていない」、「あまりしていない」、「時々している」、「おおむねしている」、「常にしている」

■ 着用意向

- 「外しても良いと思う」、「どちらかという外しても良いと思う」、「どちらとも言えない」、「どちらかという外すべきではないと思う」、「外すべきではないと思う」

■ 判断理由

- 「マスクの不快感・負の影響の懸念」、「慣れ」、「顔の一部を隠せる」、「医療ひっ迫度合い」、「感染状況」、「周囲の着用状況」、「新型コロナ以外の健康上の理由」、「政府の方針・見解」、4
「専門家の方針・見解」、「天候」

質問票（聞き方の例）

■ マスク着用状況（2023年3月第1週調査）

それぞれの場所において、マスクをどの程度着用しているか、最近1週間の状況について、当てはまるものを一つお選びください。／人通りの少ない街中を歩いているとき（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	常にしている	466	46.6
2	おおむねしている	199	19.9
3	時々している	97	9.7
4	あまりしていない	127	12.7
5	全くしていない	60	6.0
6	該当する場所には行かなかった	51	5.1

質問票（聞き方の例）

■ マスク着用意向（2023年3月第1週調査）

以下のそれぞれの場面においてマスクを外すことについてどう考えますか。それぞれご自身の考えに当てはまるものをお選びください。／人通りの少ない街中を歩いているとき（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	外してもよいと思う	417	41.7
2	どちらかというの外してもよいと思う	256	25.6
3	どちらともいえない	216	21.6
4	どちらかというの外すべきではないと思う	62	6.2
5	外すべきではないと思う	49	4.9

重要ポイント

- マスク着用状況・着用意向
 - 着用率はどの場面でもこの半年間で比較的安定的
 - 「外すべき」と考えていても「着用している」人々が一定数存在・今年になって増加
 - 女性の方が男性よりも着用している、着用すべきだと考えている人が多い傾向
- マスク着用・非着用の判断材料
 - 「居住地の感染状況」が最重要。その次に「周囲の着用状況」。
 - 「居住地の医療逼迫状況」、「慣れ」もある程度重要。
 - 「政府の見解や方針」、「専門家の見解や方針」はそれほど重要な判断材料ではない。

今後

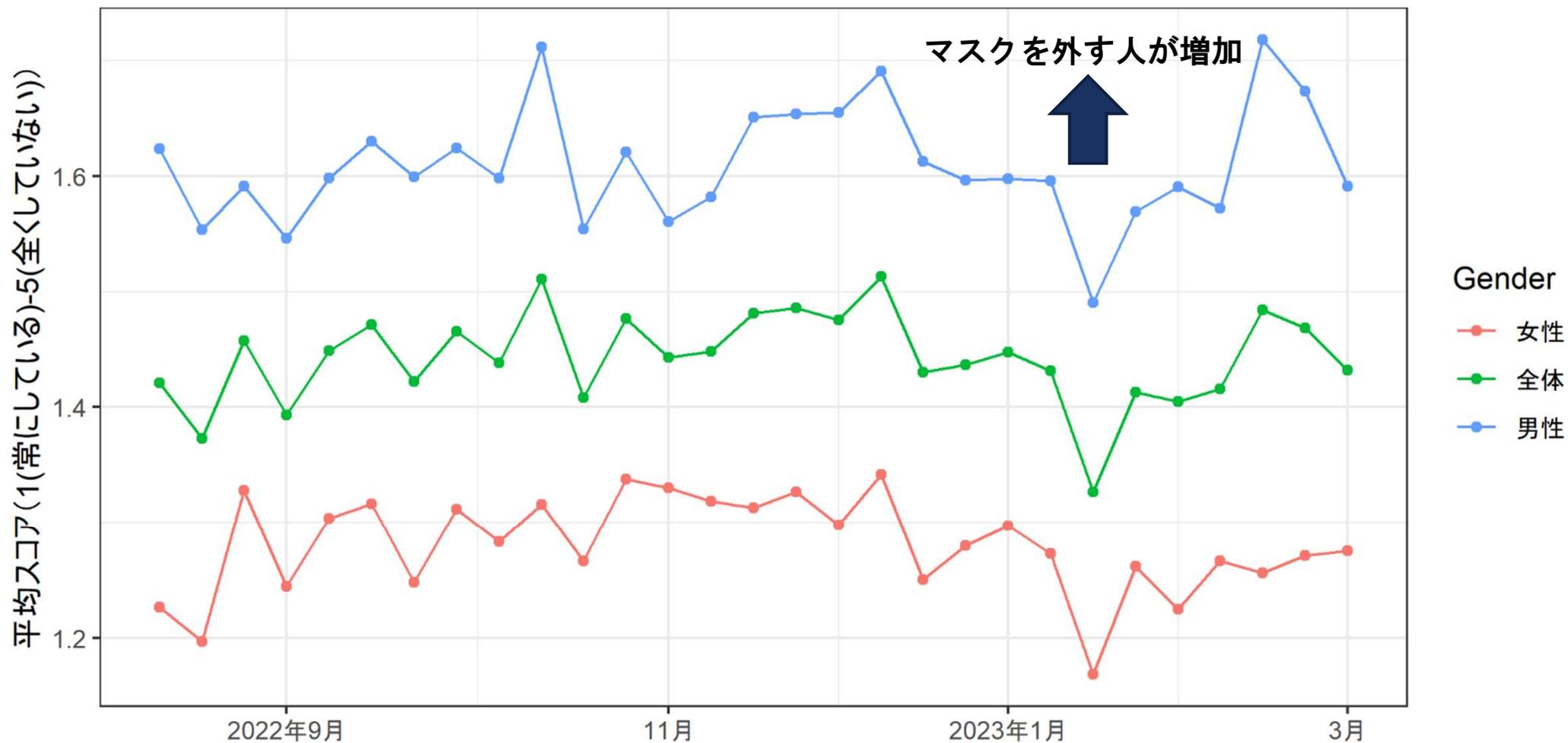
- 政府の方針が変わっても、マスク着用率には大きな影響がない可能性
 - 「周囲の状況」、「慣れ」が比較的重要であり、「専門家・政府の見解・方針」は比較的重要でないことから示唆
- 「外すべきではない」と考えているが「外す」人々が今後出てくる可能性
 - 「周囲の着用状況」が重要な判断基準であることから示唆

アンケート結果

1. マスク着用状況
2. マスク着用意向
3. 判断材料

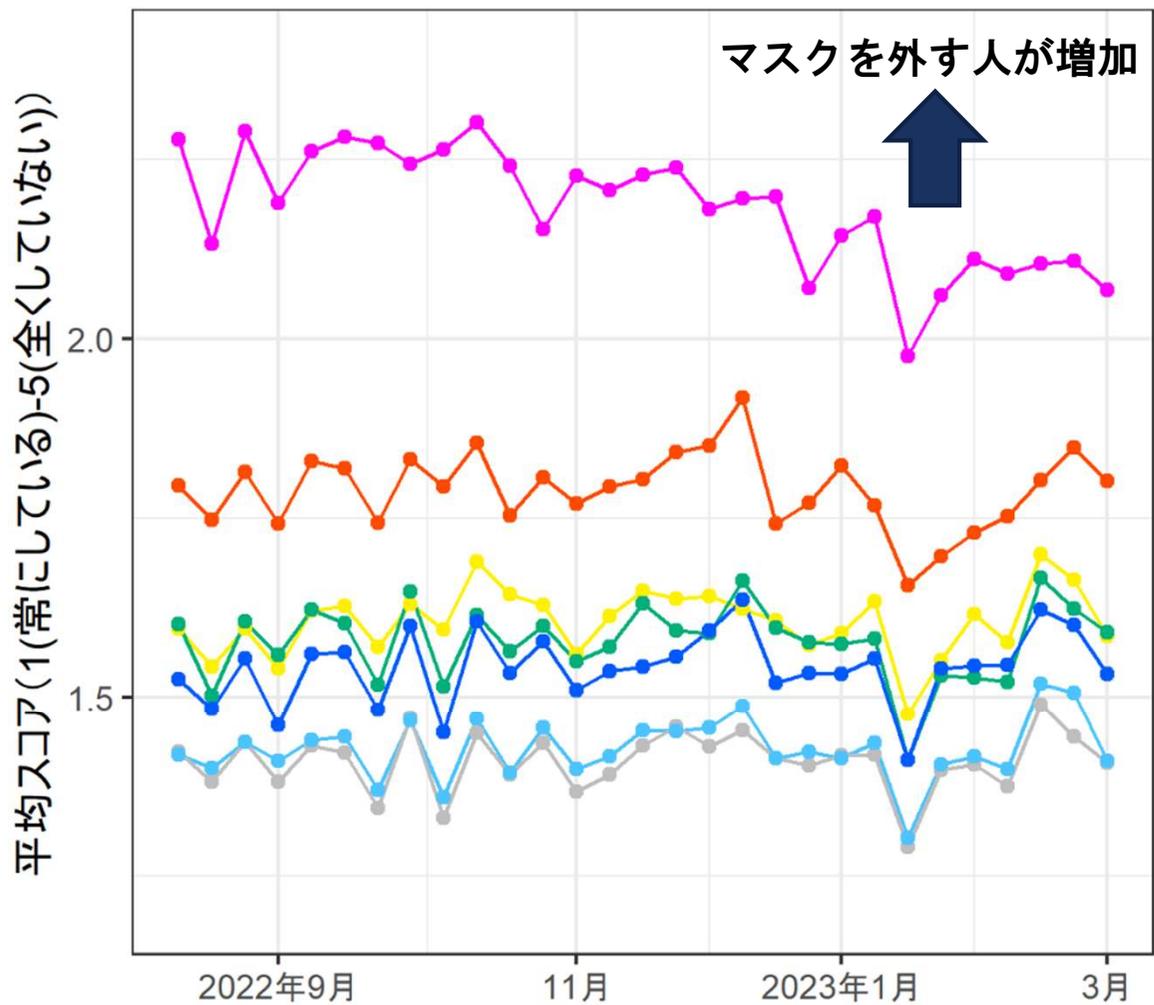
1. マスク着用状況

図1：「1-5」
全ての場面の平均



(注) 「該当する場所には行かなかった」を除いた集計

図2：「1-5」
場面ごとに線



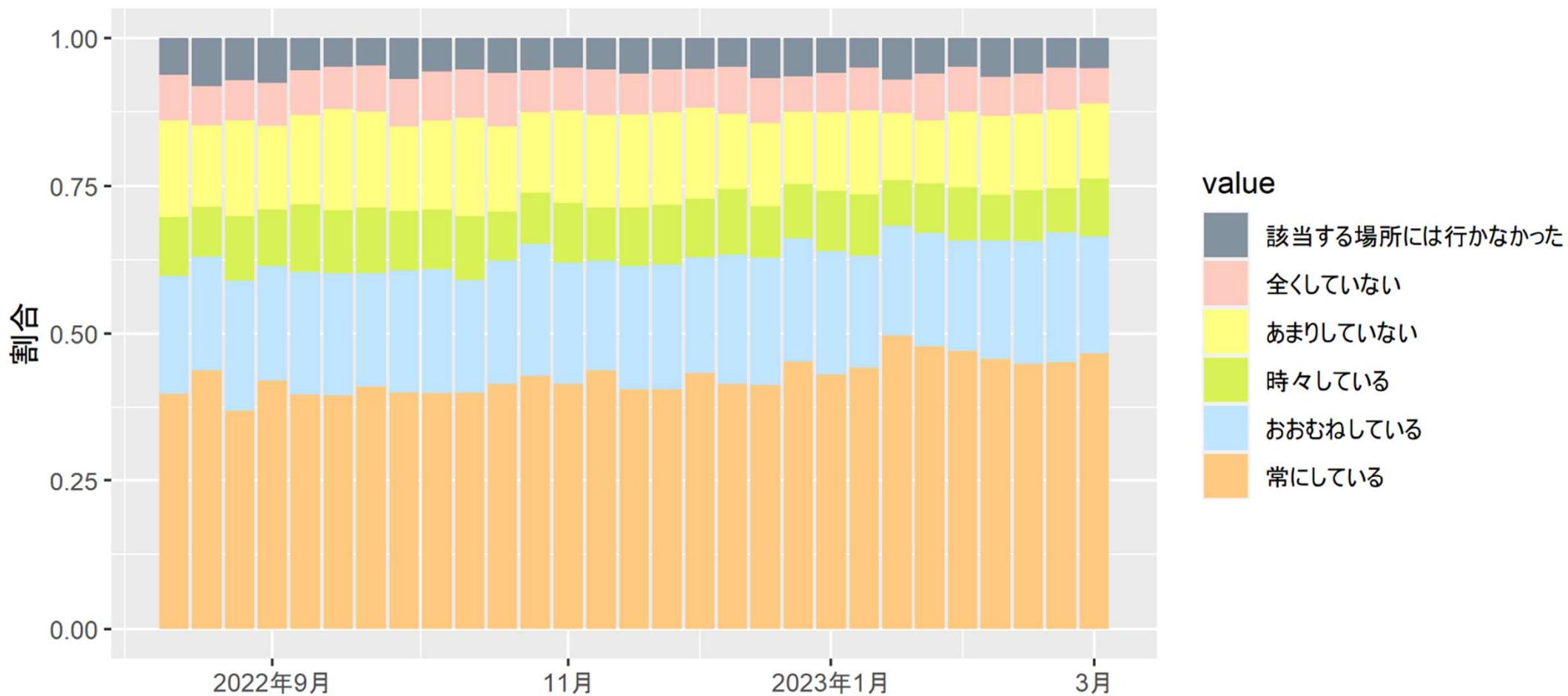
case

- 人通りの少ない街中を歩いているとき
- 職場や学校などで屋内で黙って仕事や勉強をしている時
- 人通りの多い街中を歩いているとき
- 映画館、劇場、博物館などで黙って鑑賞しているとき
- 職場や学校などで屋内で打ち合わせやおしゃべりをしている時
- 百貨店やデパートやコンビニエンスストアで静かに買い物をするとき
- 電車やバス等の公共交通機関の中

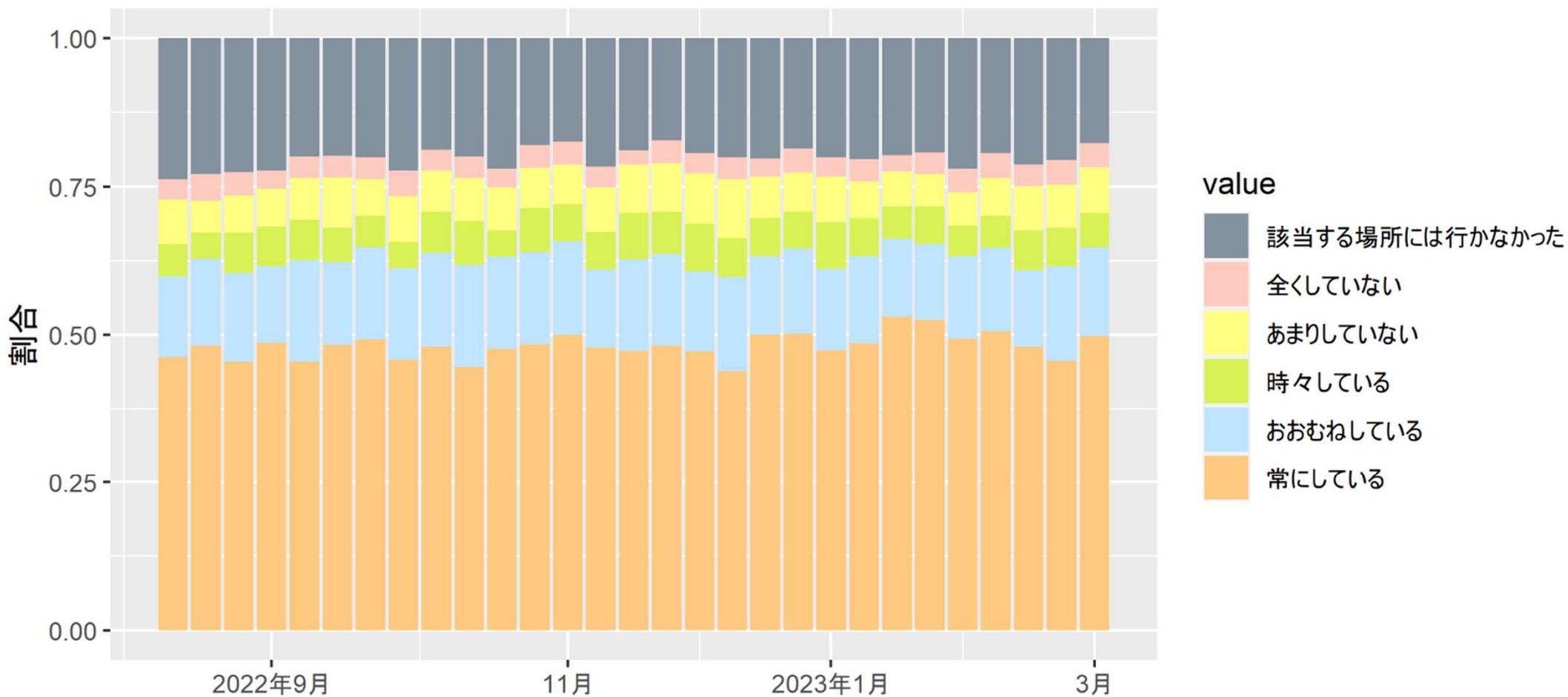
(注) 「該当する場所には行かなかった」を除いた集計

図3～：1から5
場面ごとに一つの図<7場面>

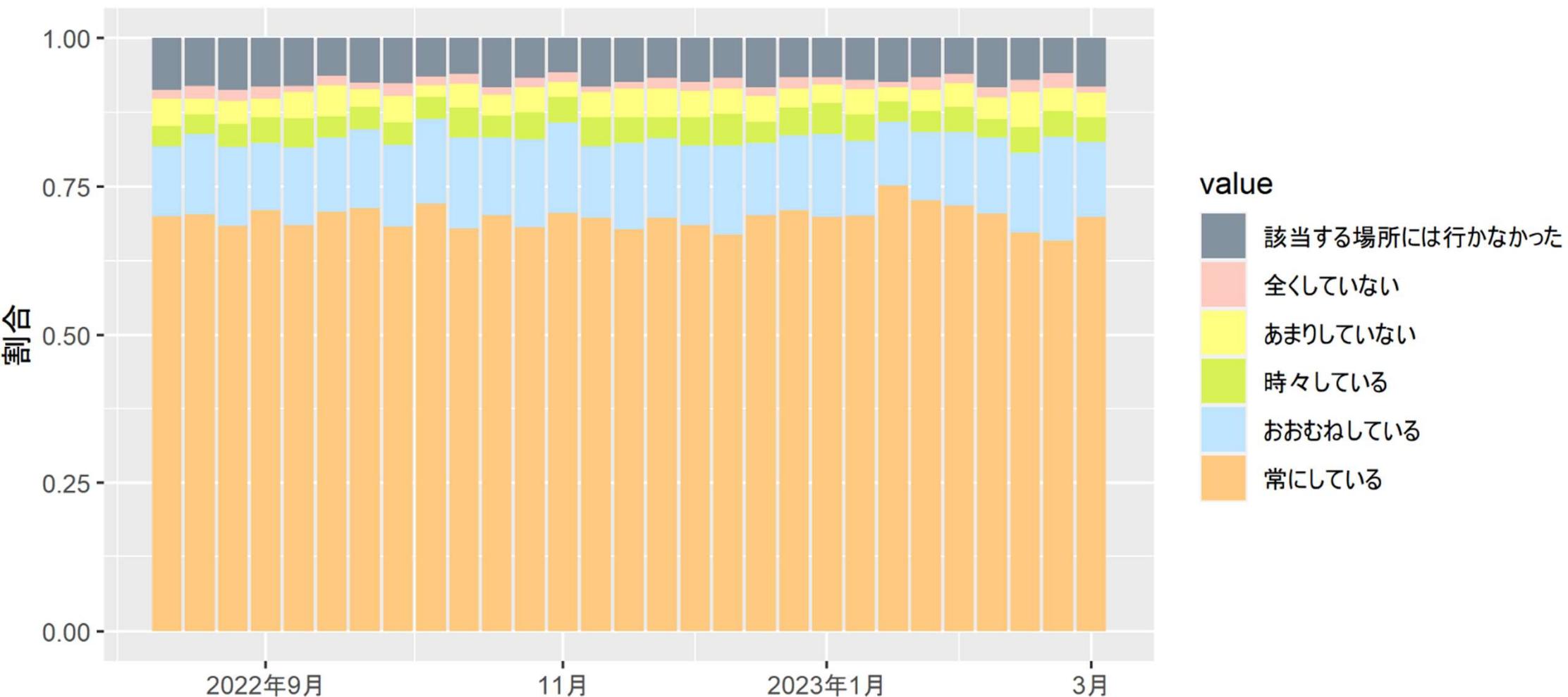
人通りの少ない街中を歩いているとき



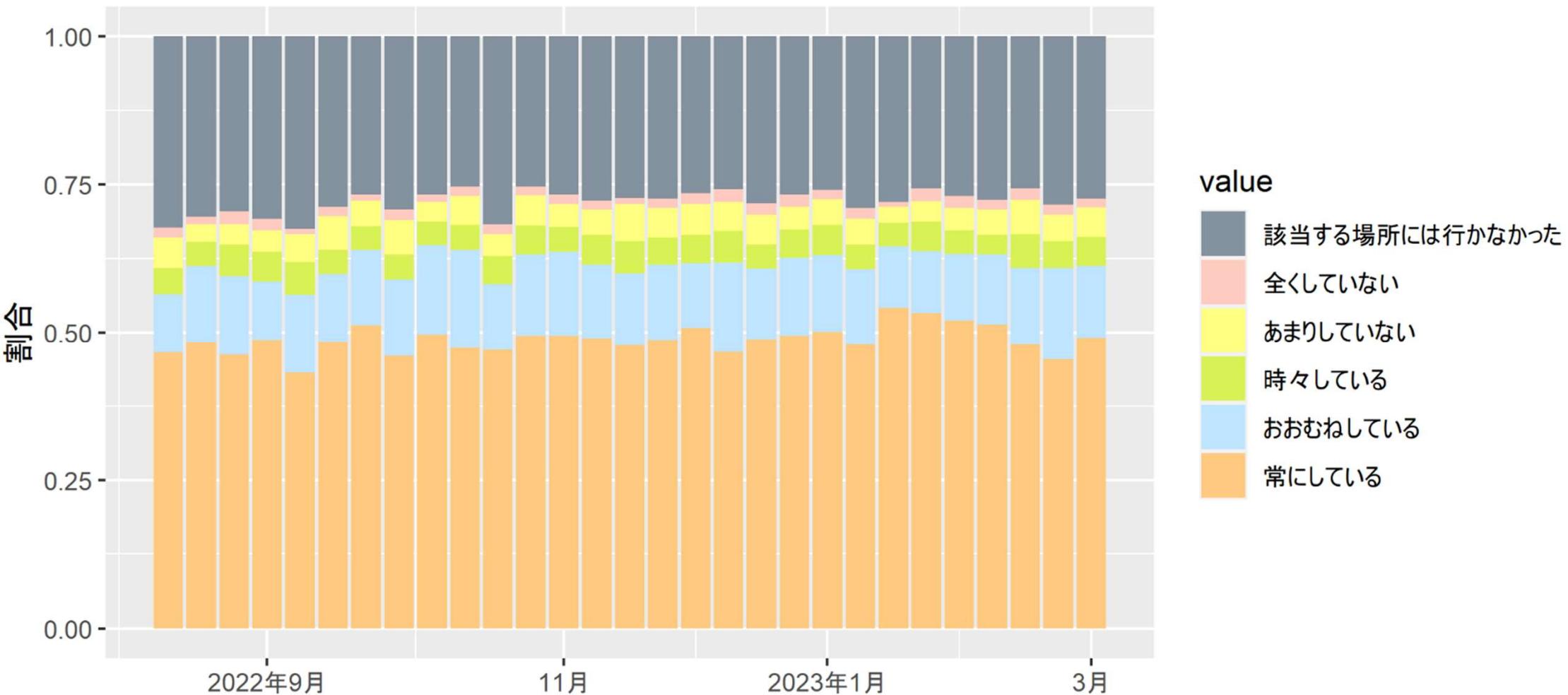
職場や学校などで屋内で黙って仕事や勉強をしている時



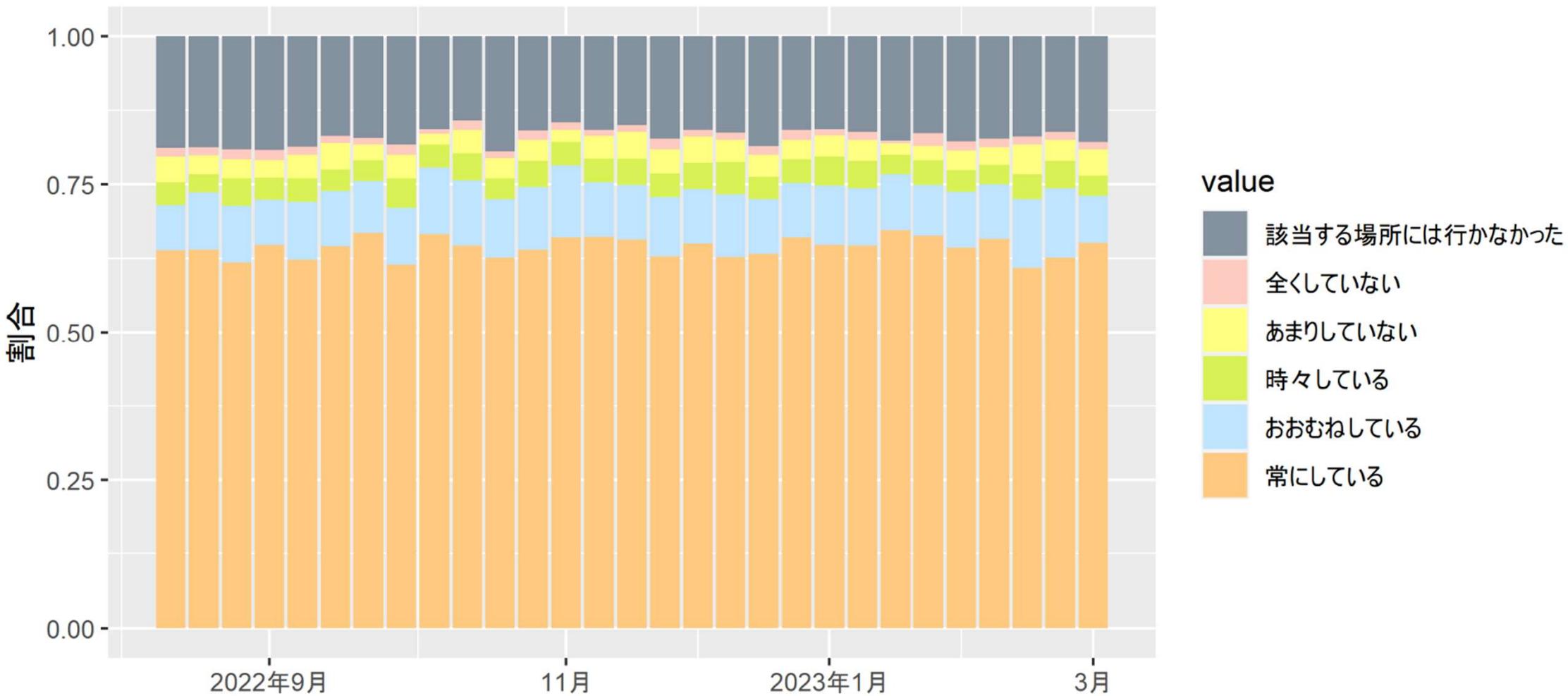
百貨店やデパートやコンビニエンスストアで静かに買い物をするとき



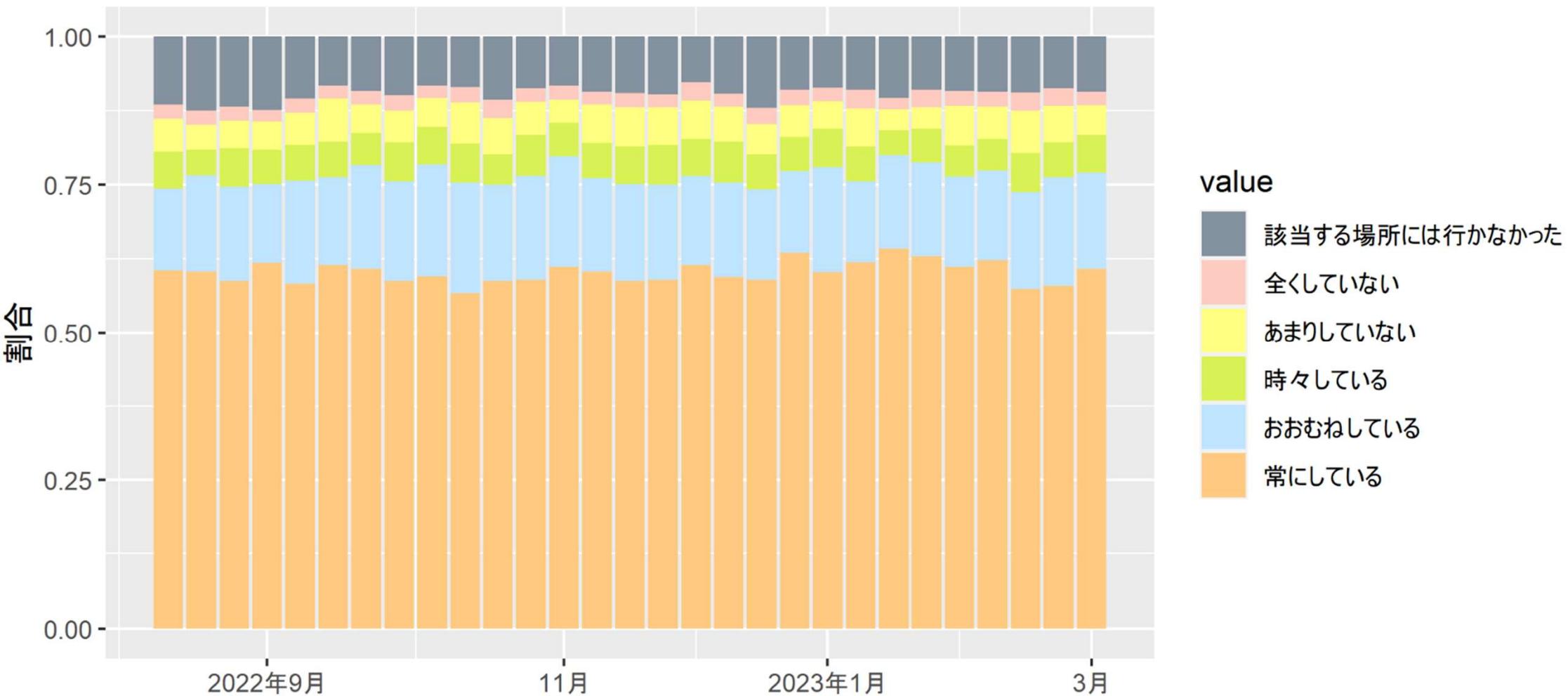
映画館、劇場、博物館などで黙って鑑賞しているとき



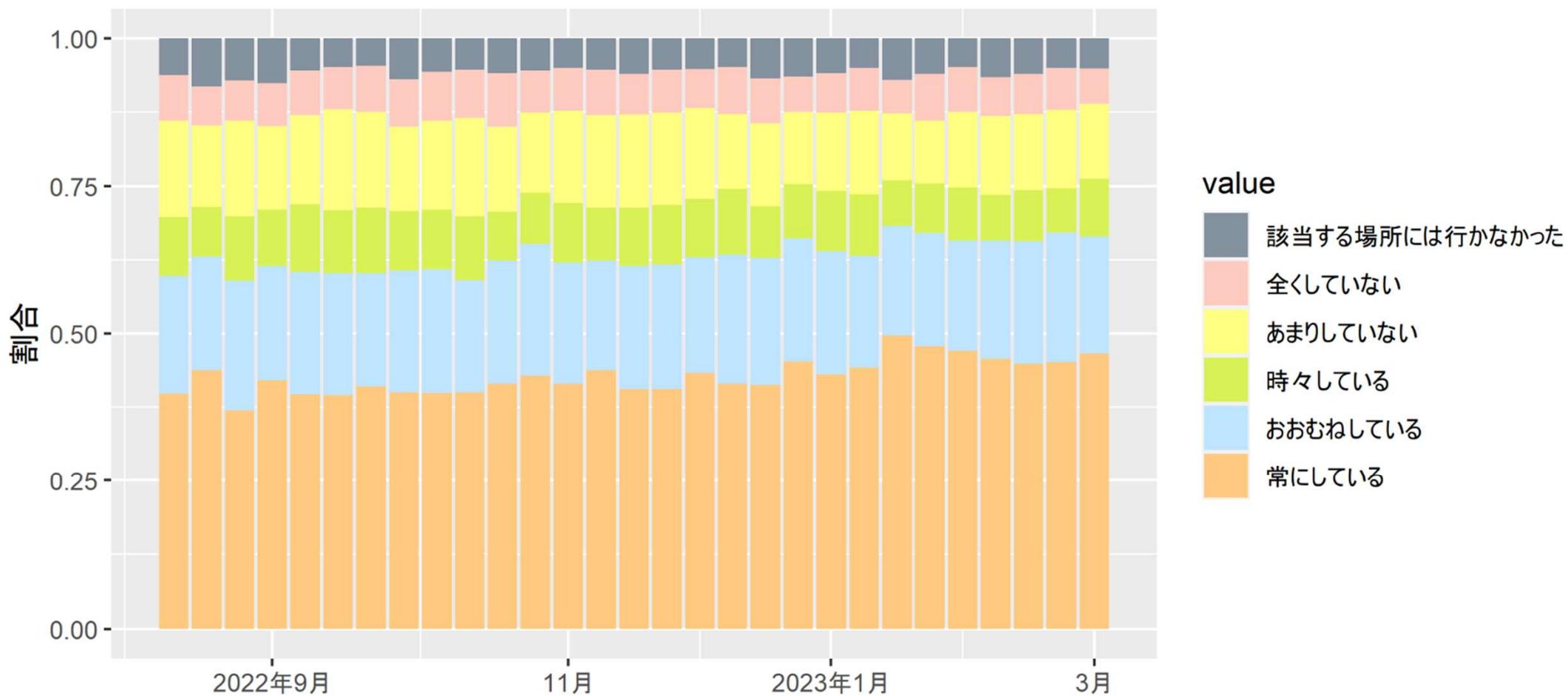
電車やバス等の公共交通機関の中



人通りの多い街中を歩いているとき



人通りの少ない街中を歩いているとき



2. マスク着用意向

図1：「1-5」
全ての場面の平均

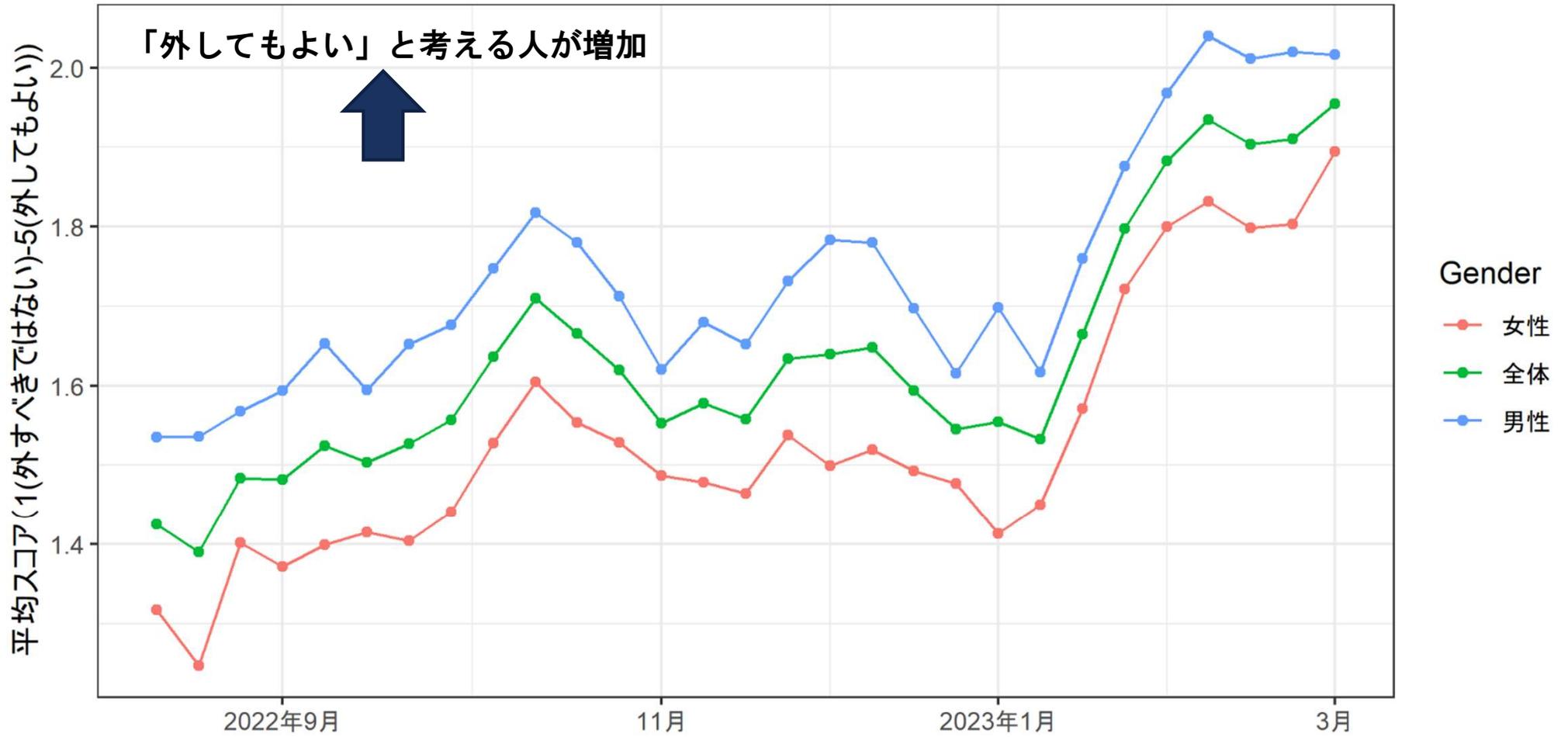
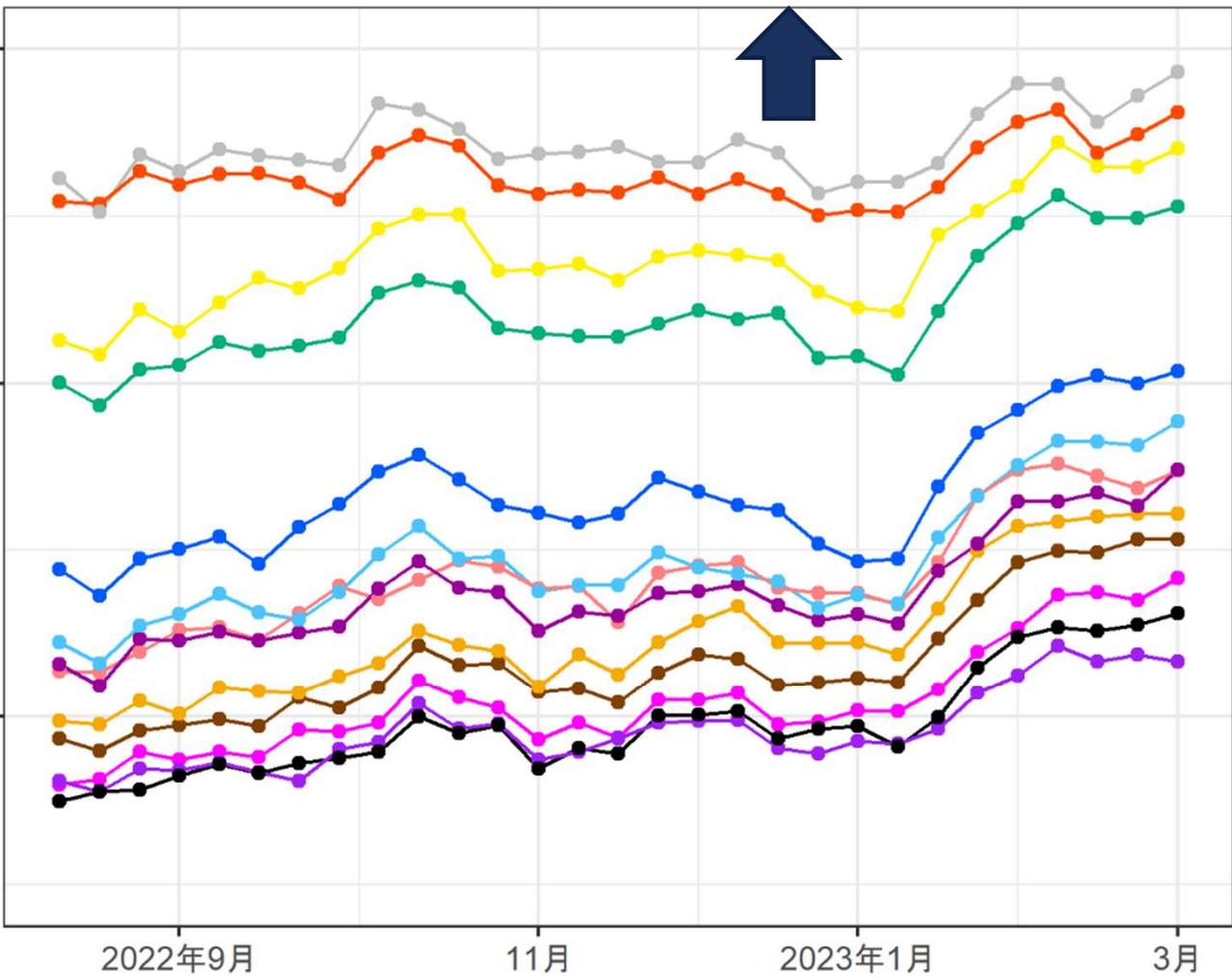


図2：「1-5」
場面ごとに線

平均スコア(外すべきではない(1)-外してもよい(5))

「外してもよい」と考える人が増加

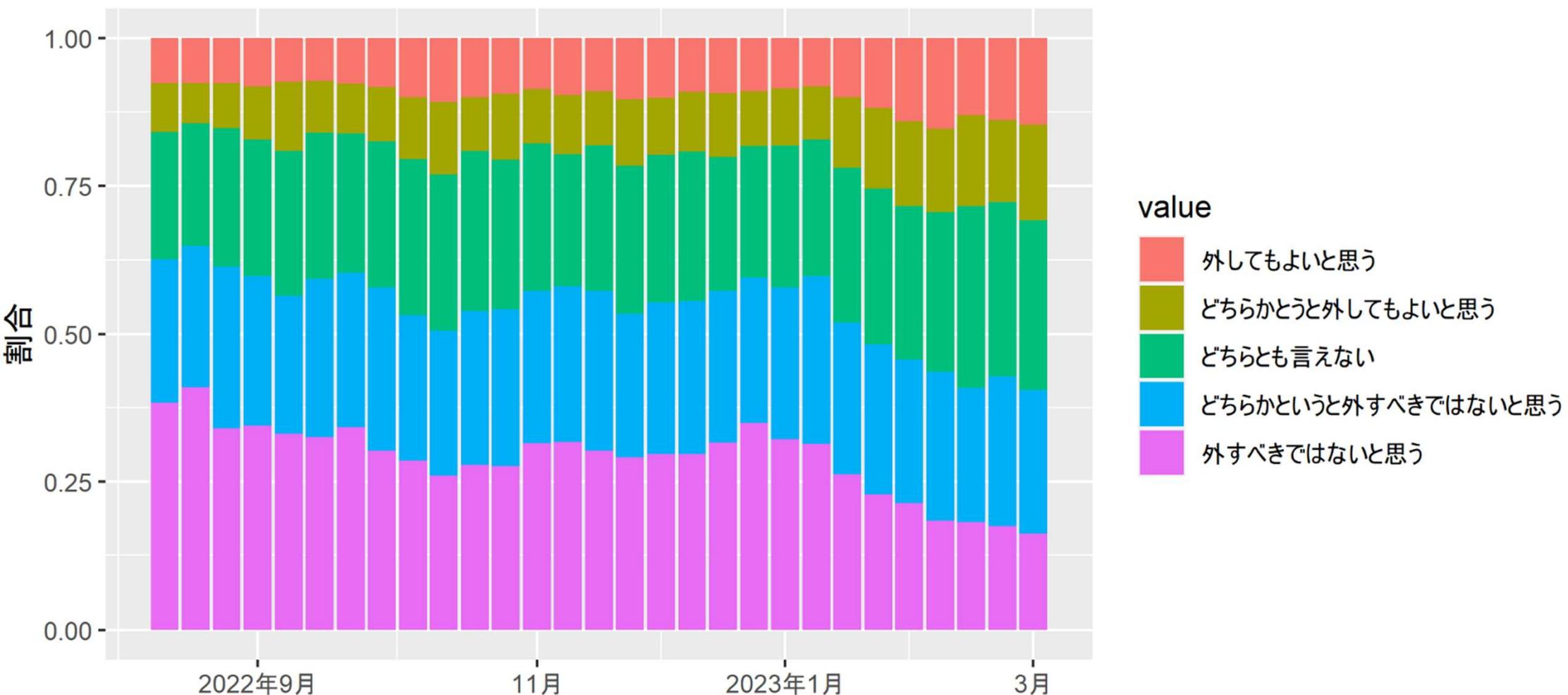


case

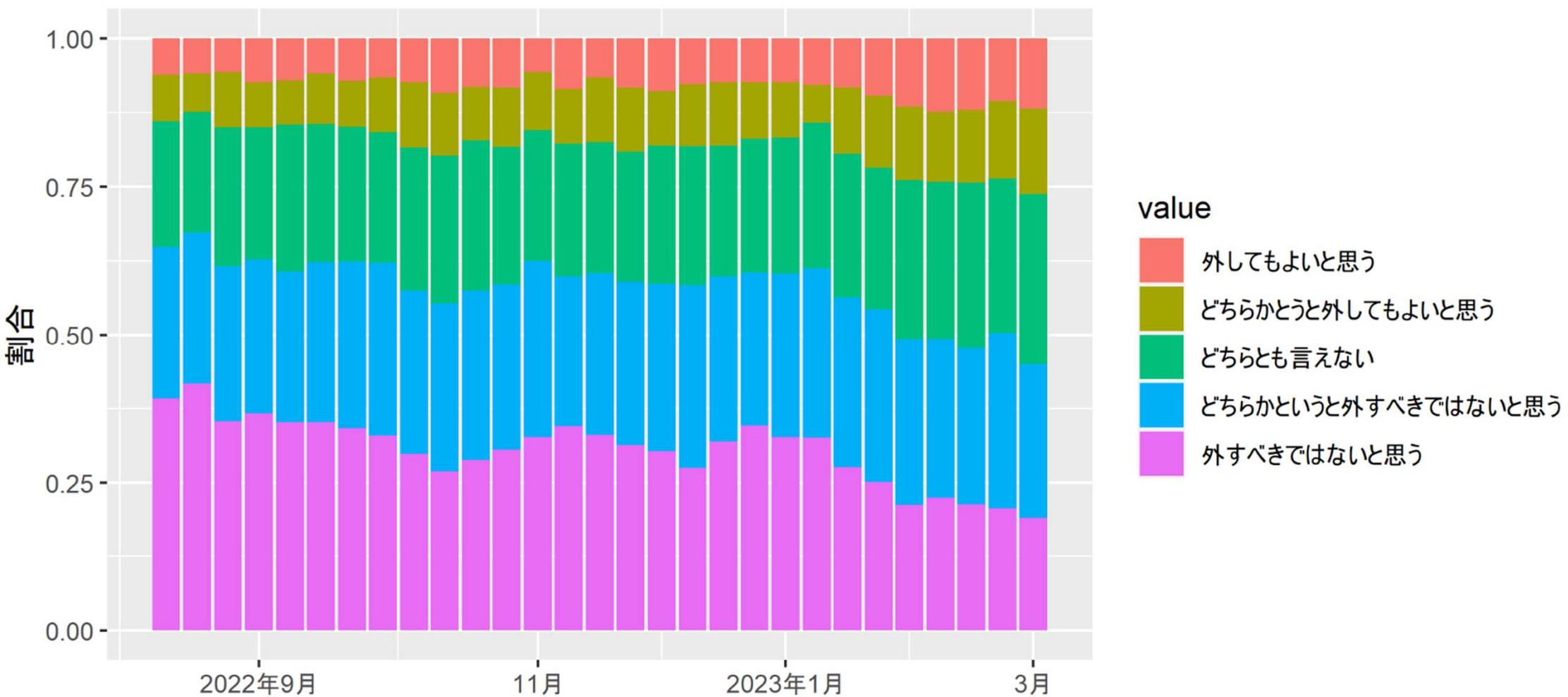
- 人通りの少ない街中を歩いているとき
- 工事現場など、屋外で仕事をするとき
- オフィスで黙ってデスクワークをしているとき
- 学校で黙って授業を受けているとき
- 映画館、劇場などで黙って鑑賞しているとき
- 静かに買い物をするとき
- 音楽の授業等で合唱をするとき
- 屋外でスポーツの試合を声出して観戦するとき
- 人通りの多い街中を歩いているとき
- 学校で児童・生徒同士が話し合いをするとき
- オフィスで対面で会話・会議をしたりするとき
- ライブやコンサートに声出して参加するとき
- 電車やバス等の公共交通機関の中

図3～：1から5
場面ごとに一つの図<13場面>

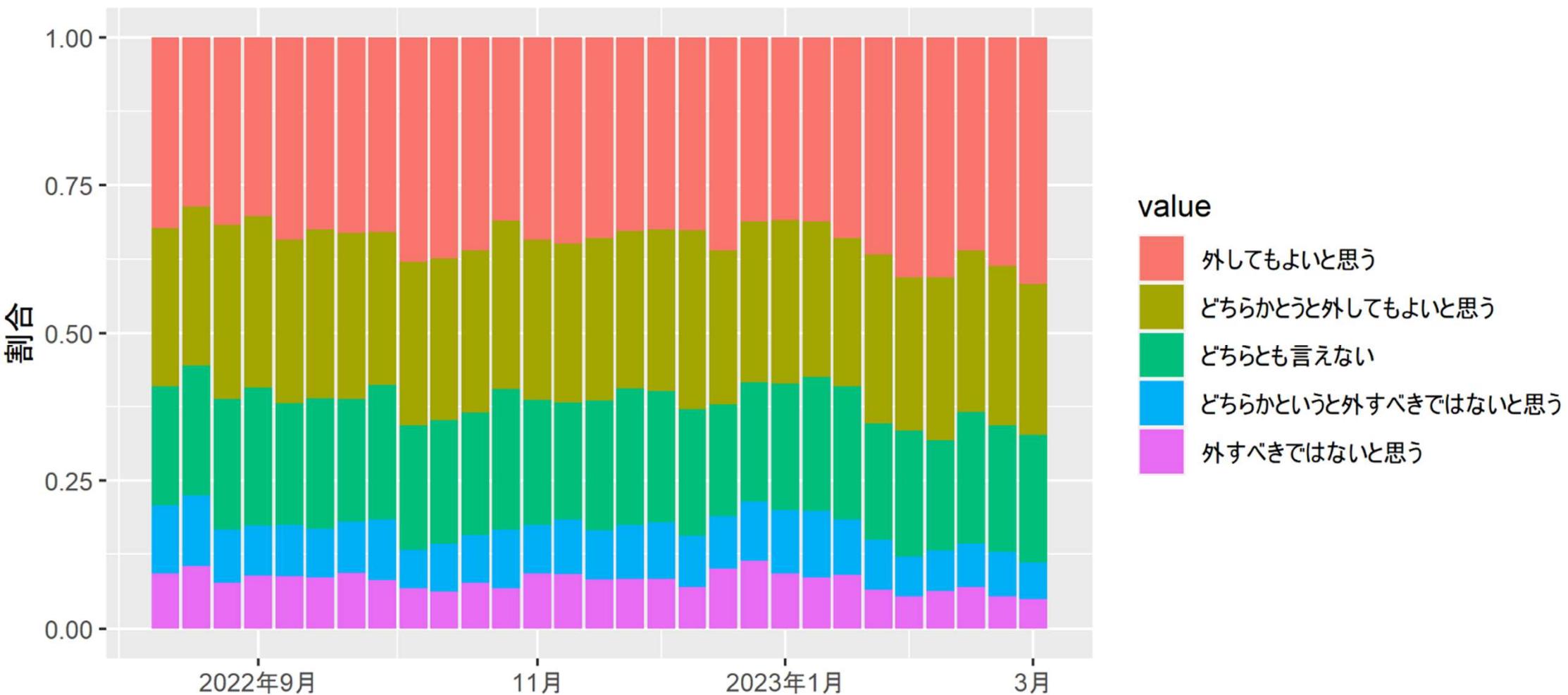
百貨店やデパートやコンビニエンスストアで静かに買い物をするとき



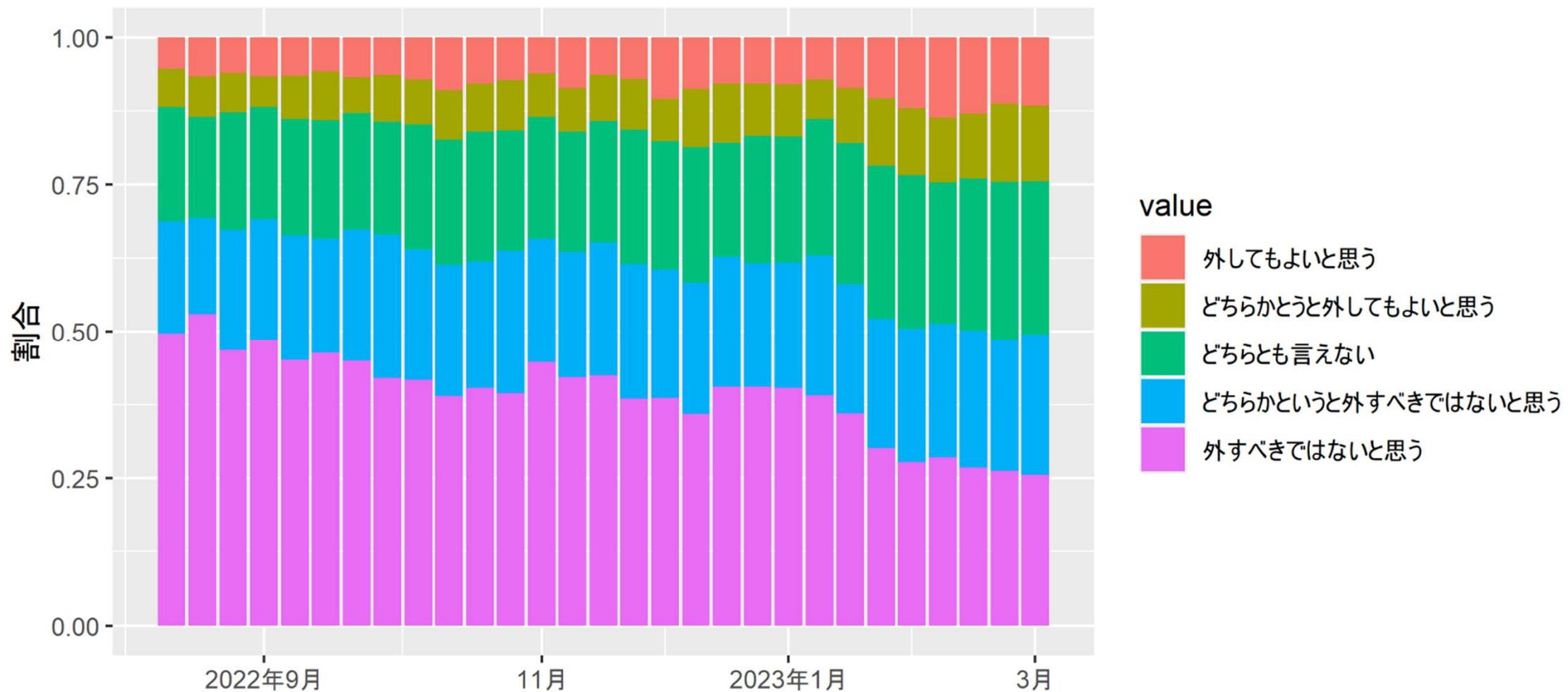
人通りの多い街中を歩いているとき



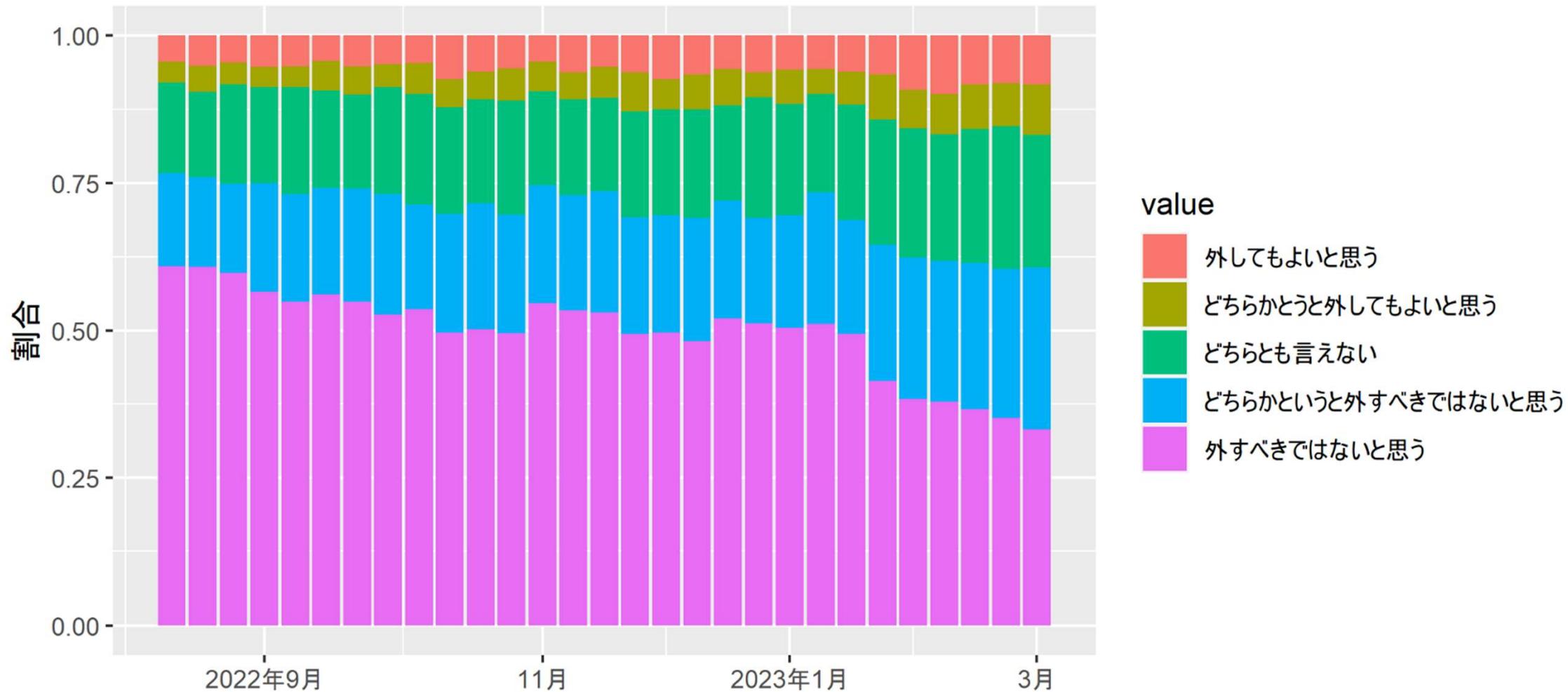
人通りの少ない街中を歩いているとき



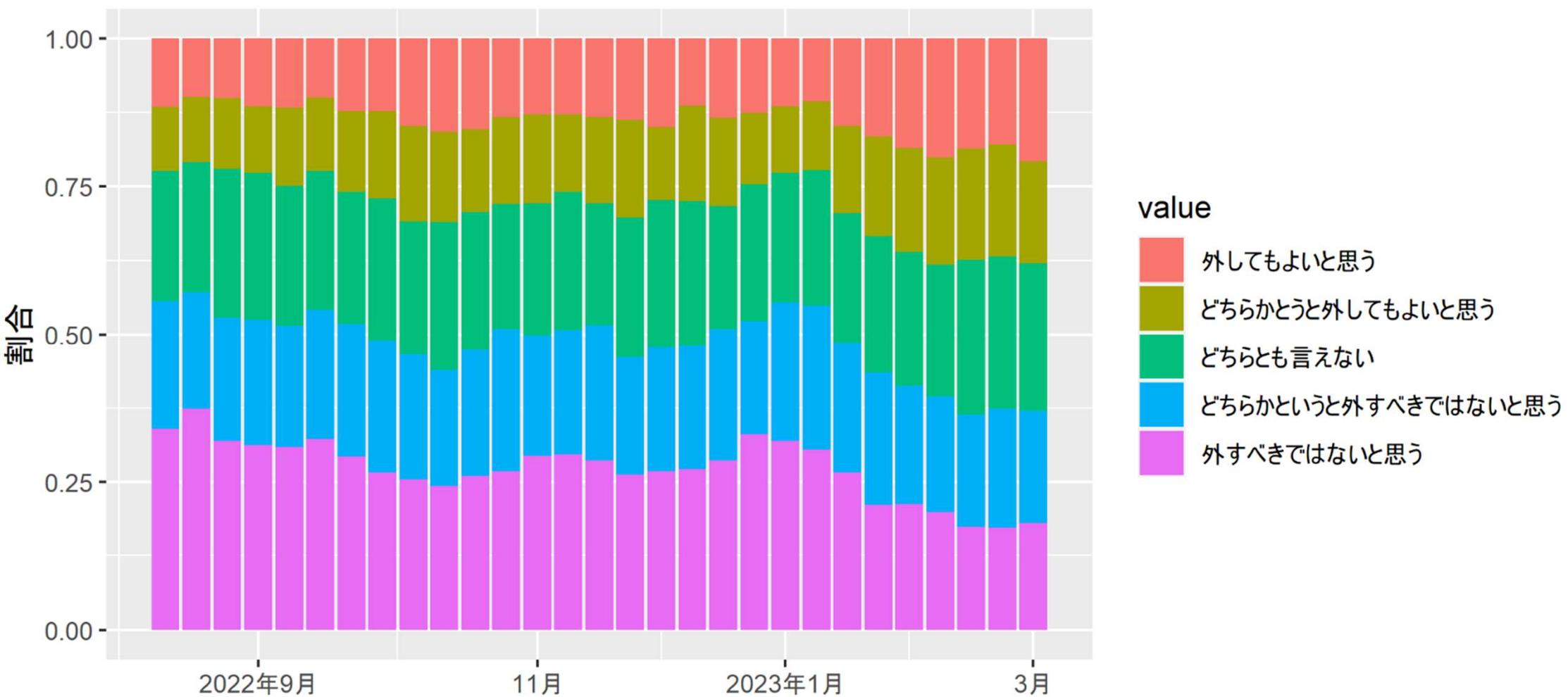
屋外でスポーツの試合を声出して観戦するとき



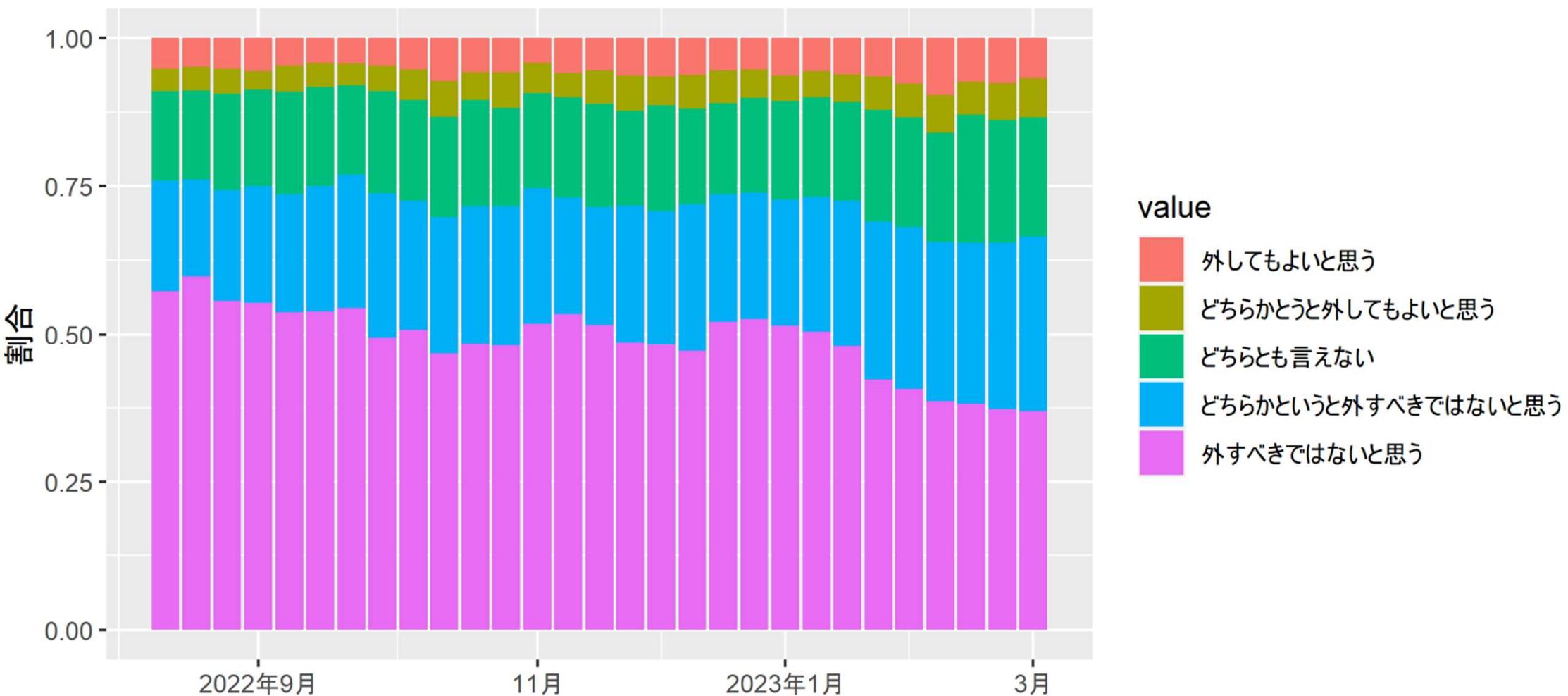
ライブやコンサートに声出して参加するとき



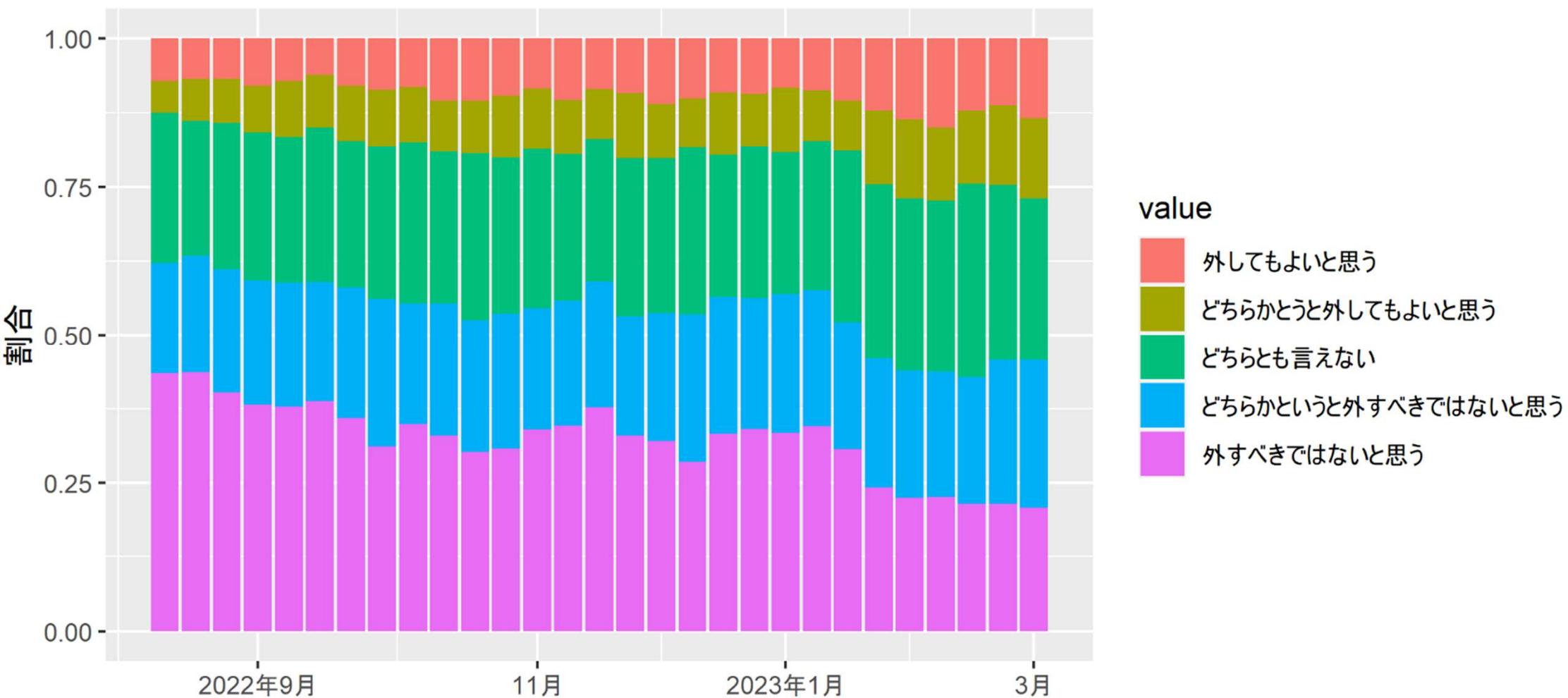
映画館、劇場、博物館などで黙って鑑賞しているとき



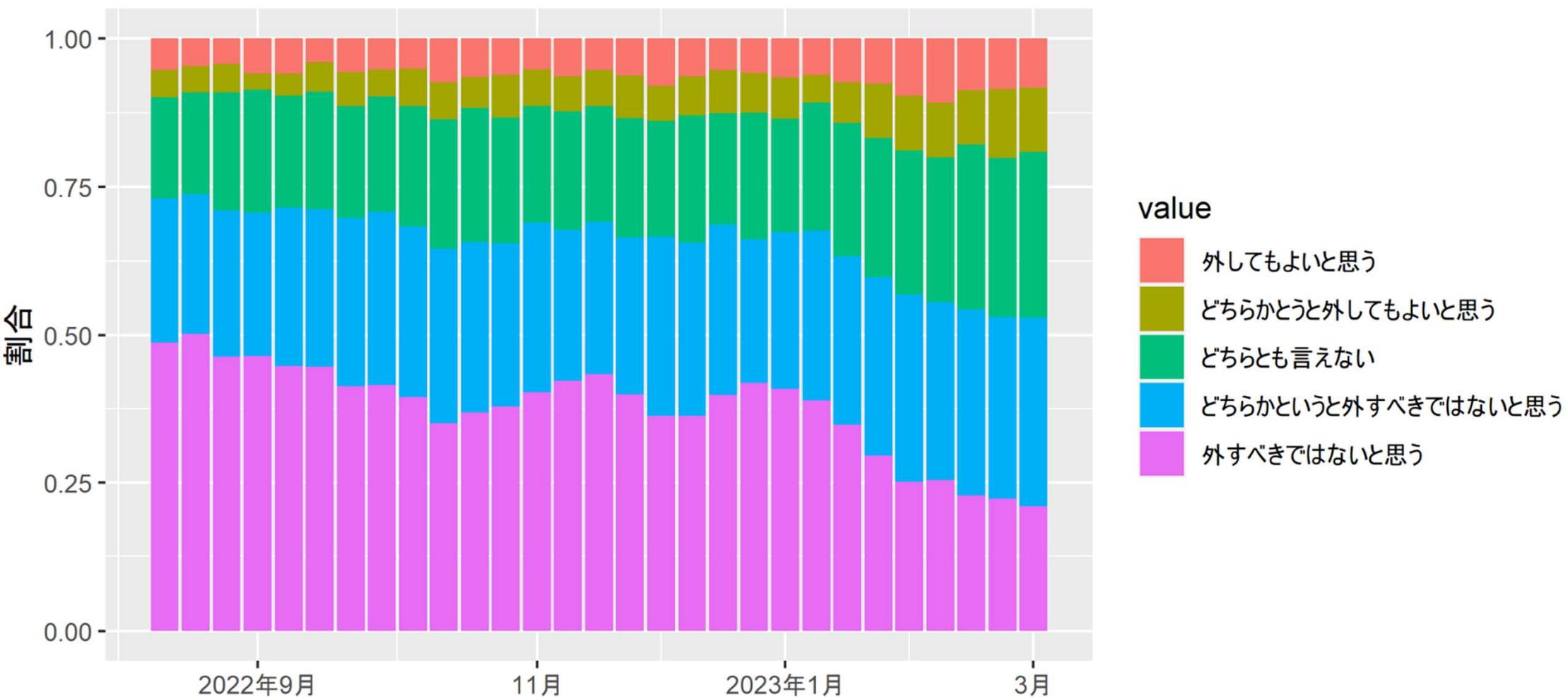
電車やバス等の公共交通機関の中



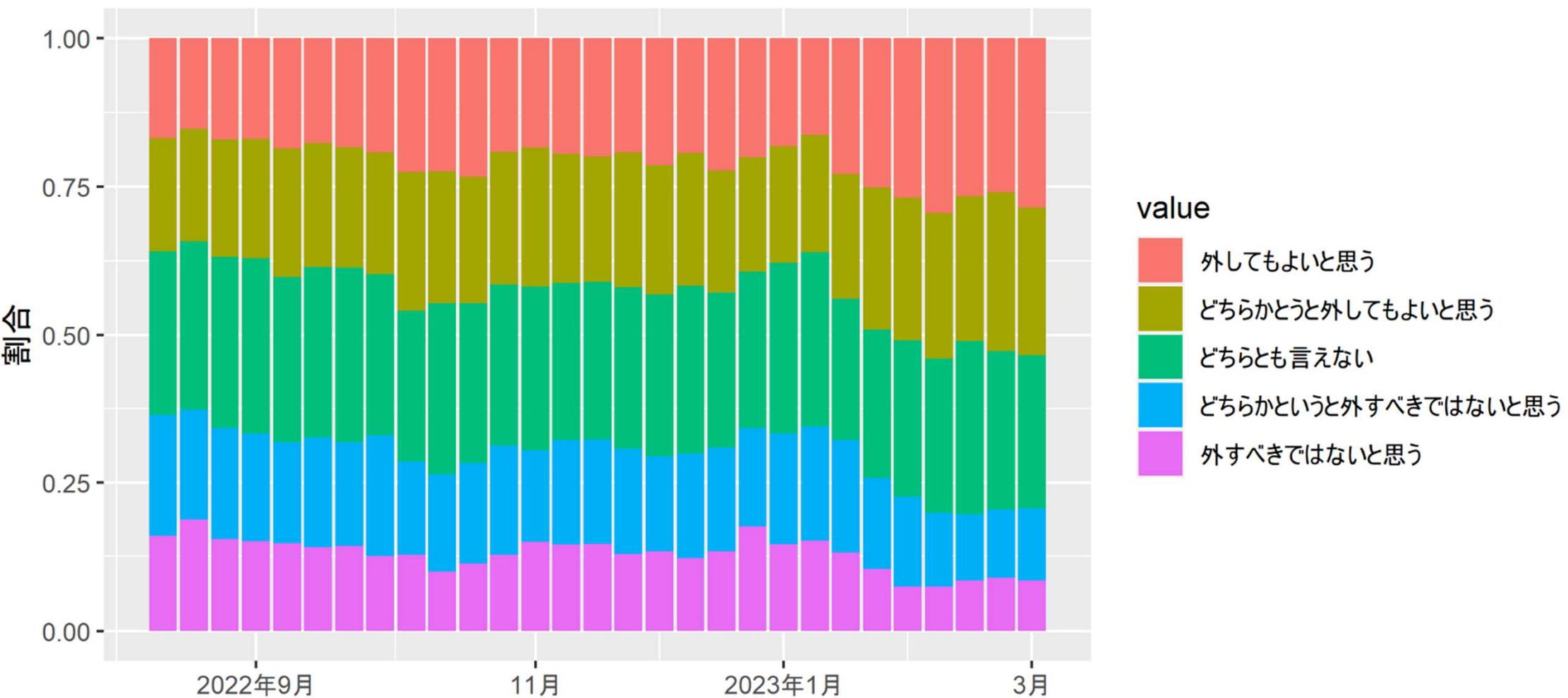
音楽の授業等で合唱をするとき



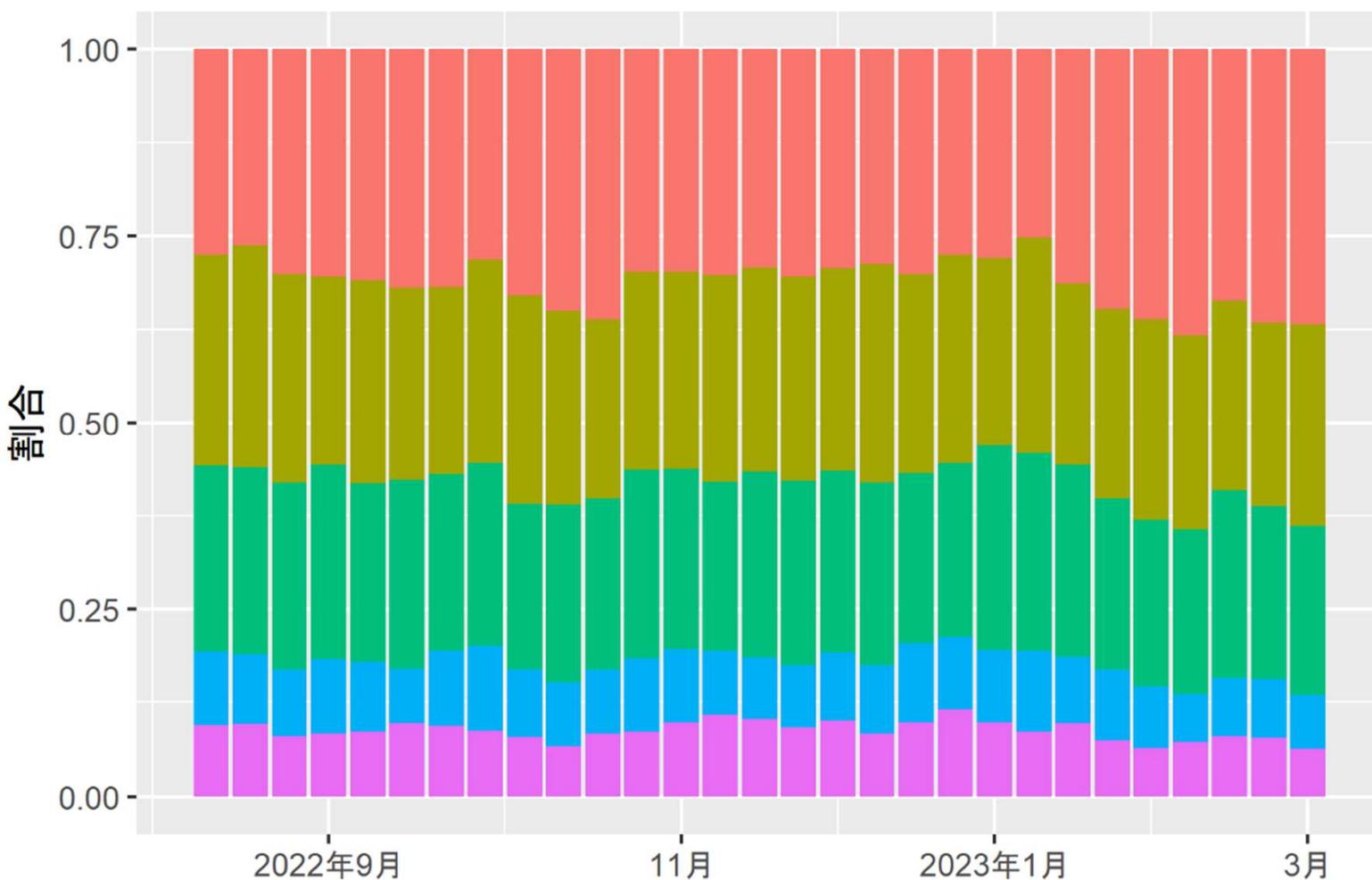
学校で児童・生徒同士が話し合いをするとき



学校で黙って授業を受けているとき



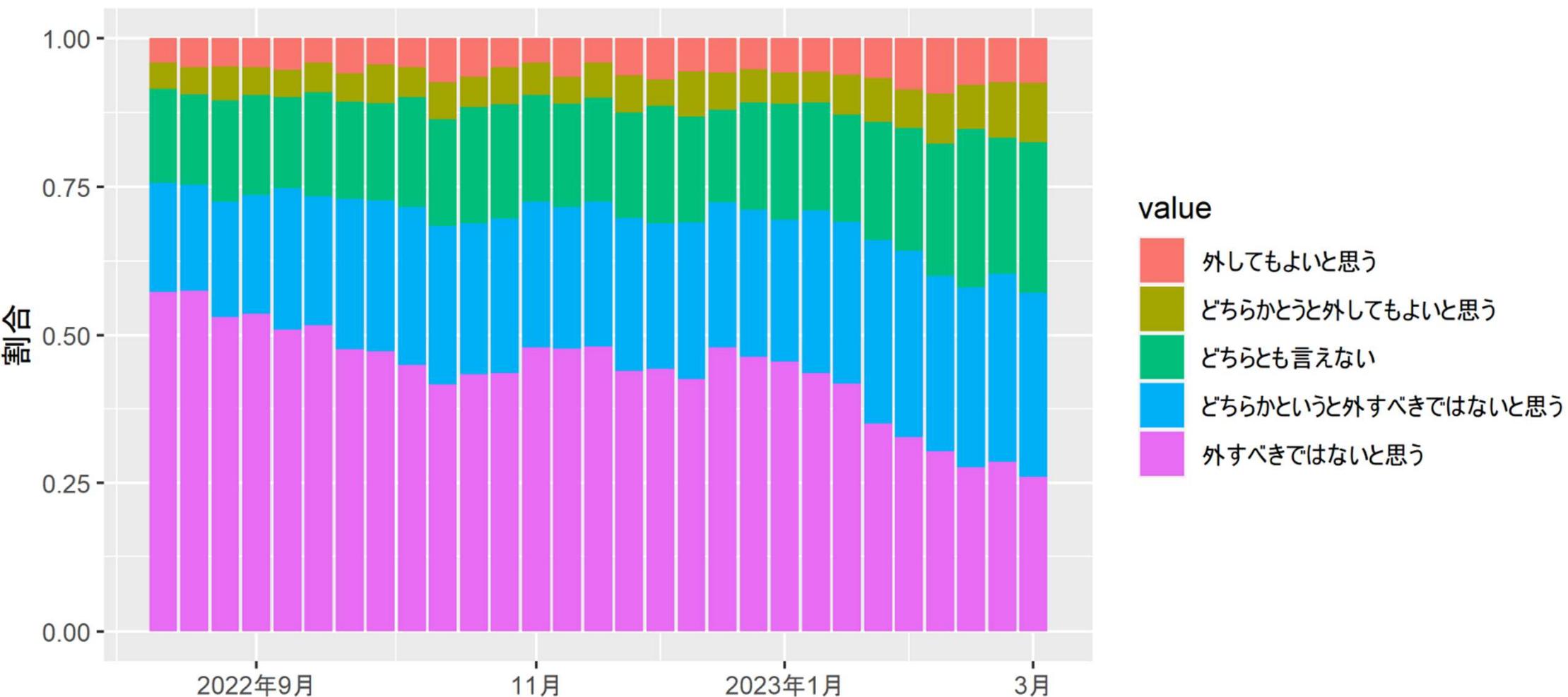
工事現場など、屋外で仕事をするとき



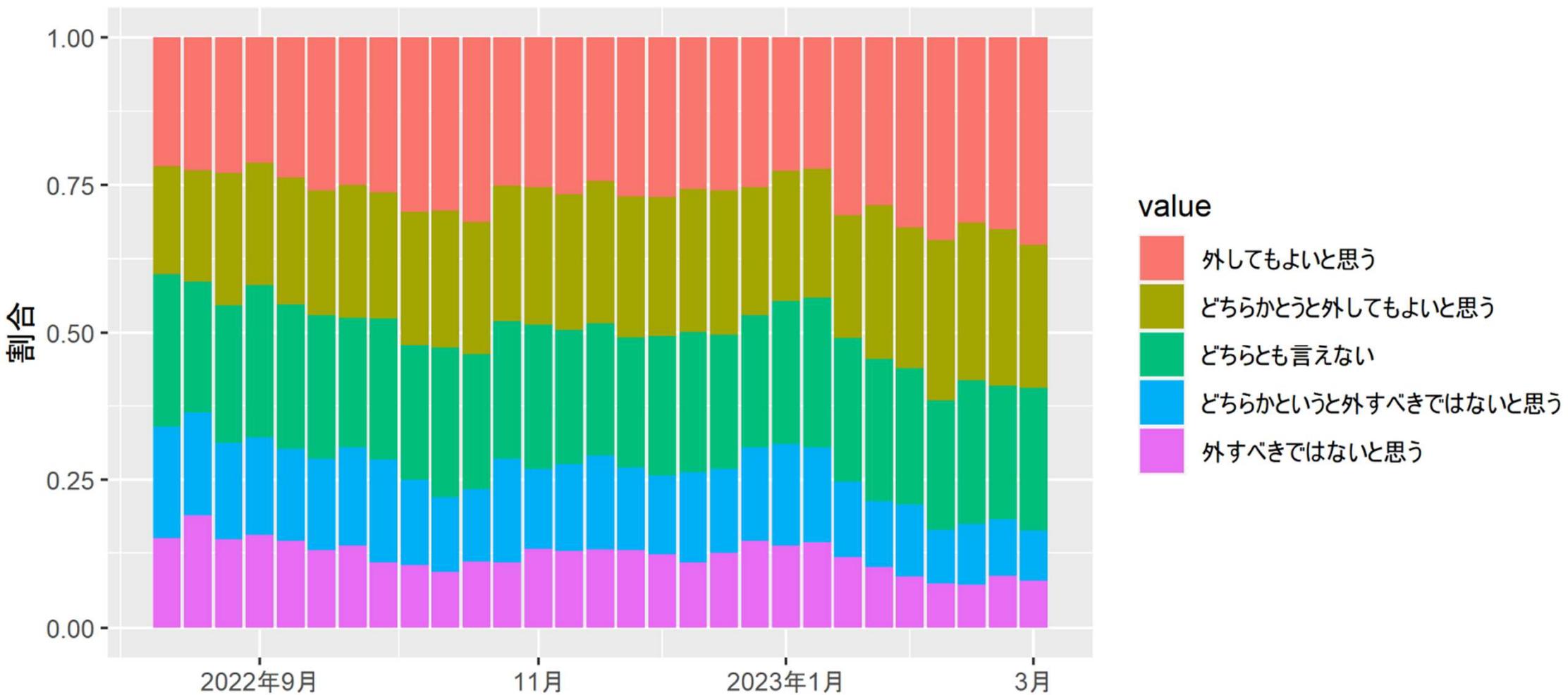
value

- 外してもよいと思う
- どちらかとうと外してもよいと思う
- どちらとも言えない
- どちらかというと外すべきではないと思う
- 外すべきではないと思う

オフィスにおいて対面で会話をしたり、会議をしたりするとき



オフィスで黙ってデスクワークをしているとき



図B：着用状況と着用意向の乖離
場面ごとに線<4つの場面>

集計方法

- 同一の場面において、以下の定義で集計
 - 外しても良い (A) ~~~ 「外してもよいと思う」もしくは「どちらかという外してもよいと思う」
 - 着用している人 (B) ~~~ 「常にしている」もしくは「おおむねしている」
 - AかつBの人の割合を計算（“**外してもよいと考えているが何らかの理由で着用している人**”）

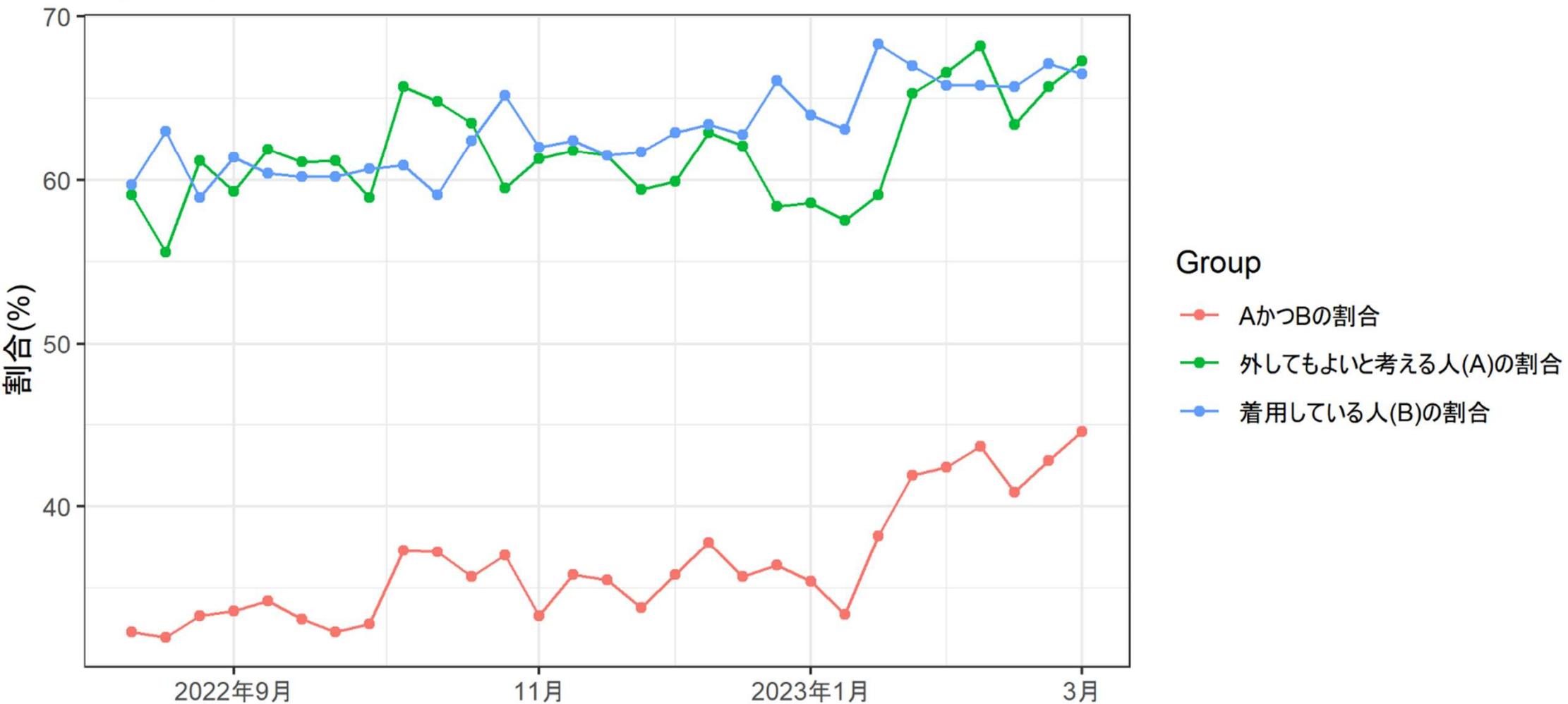
以下のそれぞれの場面においてマスクを外すことについてどう考えますか。それぞれご自身の考えに当てはまるものをお選びください。/人通りの少ない街中を歩いているとき (S A)

		回答数	%
A	全体	1000	100.0
1	外してもよいと思う	417	41.7
2	どちらかという外してもよいと思う	256	25.6
3	どちらともいえない	216	21.6
4	どちらかという外すべきではないと思う	62	6.2
5	外すべきではないと思う	49	4.9

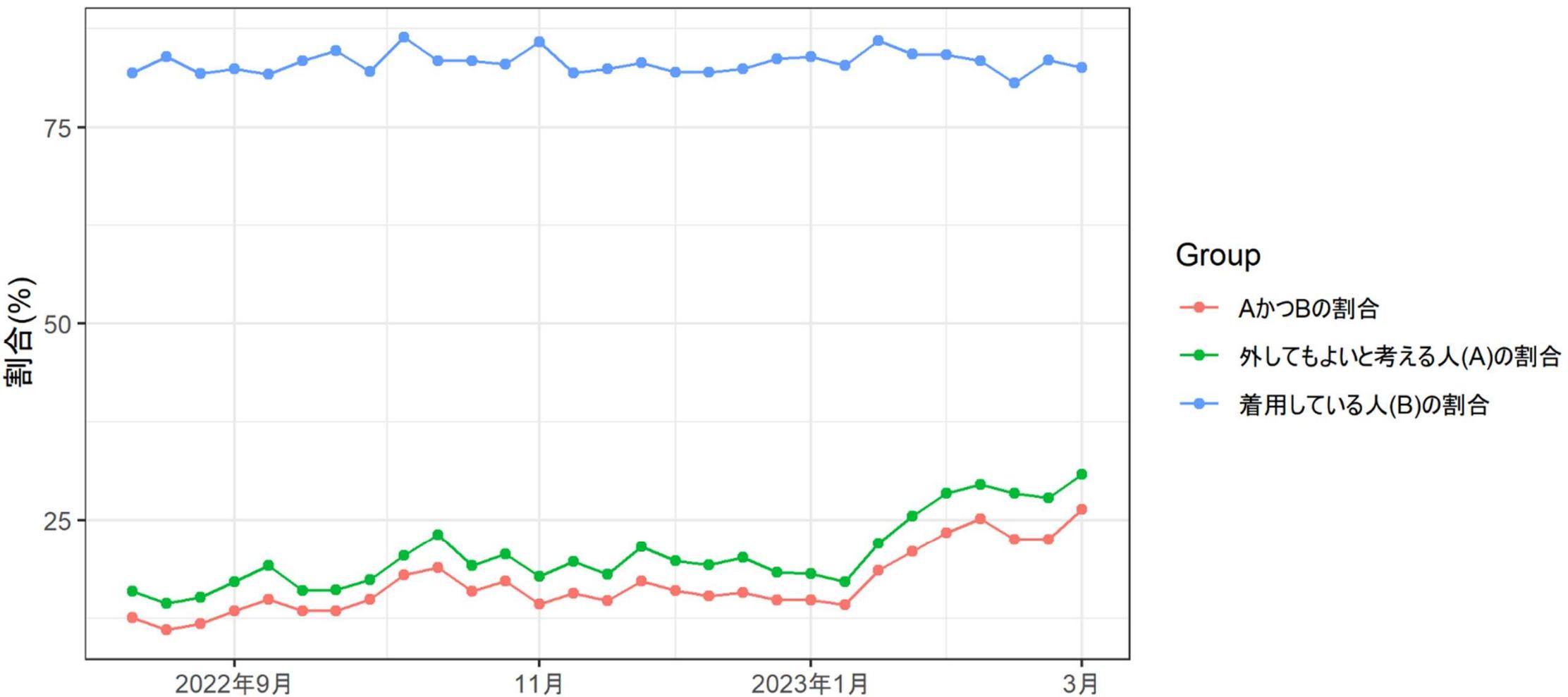
それぞれの場所において、マスクをどの程度着用しているか、最近1週間の状況について、当てはまるものをお選びください。/人通りの少ない街中を歩いているとき (S A)

		回答数	%
B	全体	1000	100.0
1	常にしている	466	46.6
2	おおむねしている	199	19.9
3	時々している	97	9.7
4	あまりしていない	127	12.7
5	全くしていない	60	6.0
6	該当する場所には行かなかった	51	5.1

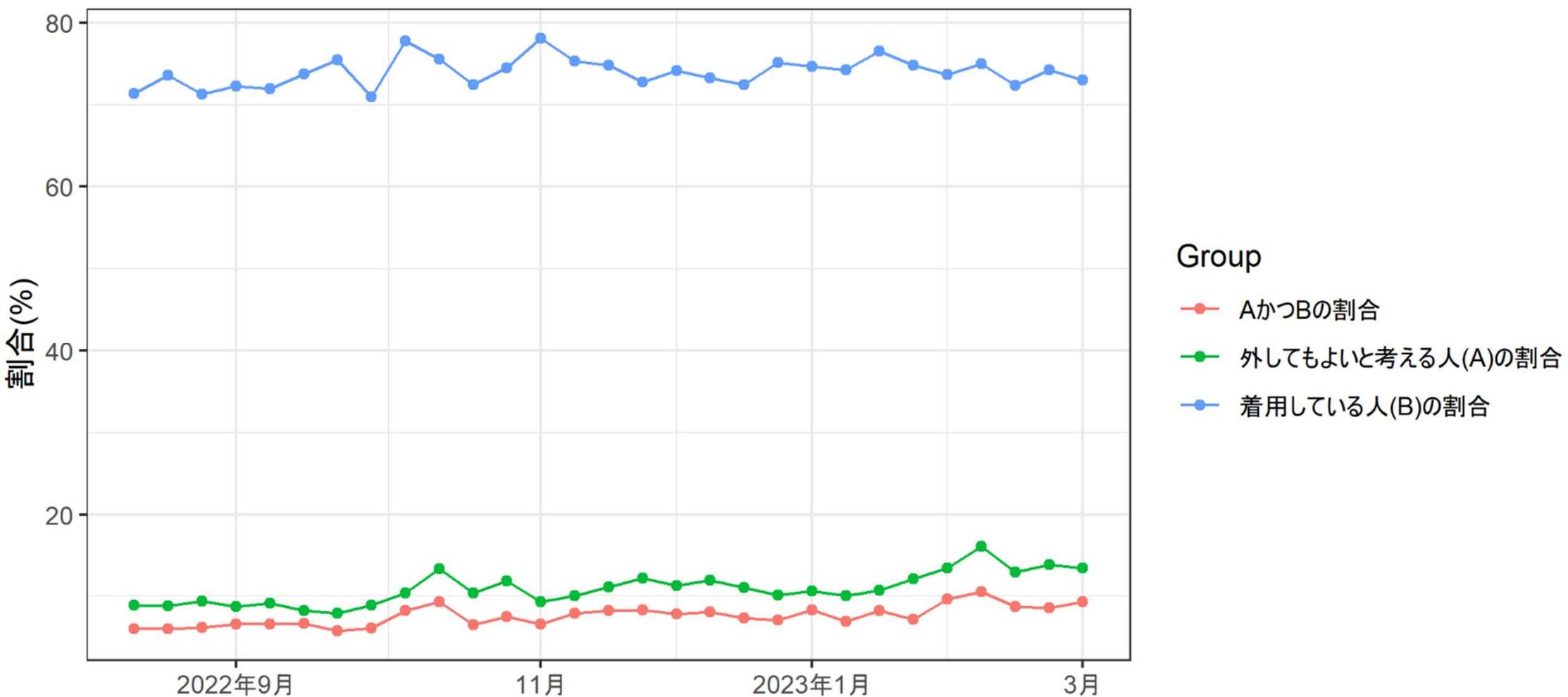
人通りの少ない街中を歩いているとき



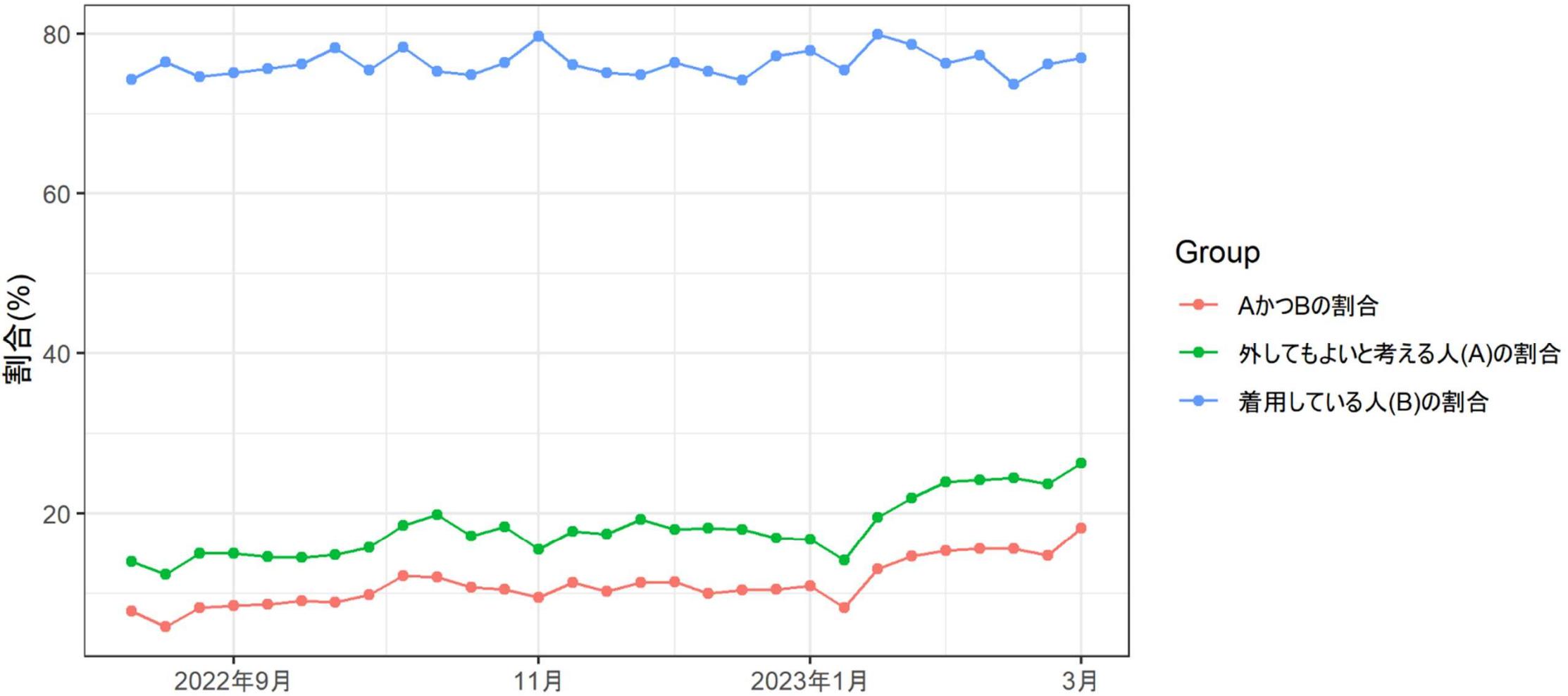
百貨店やデパートやコンビニエンスストアで静かに買い物をするとき



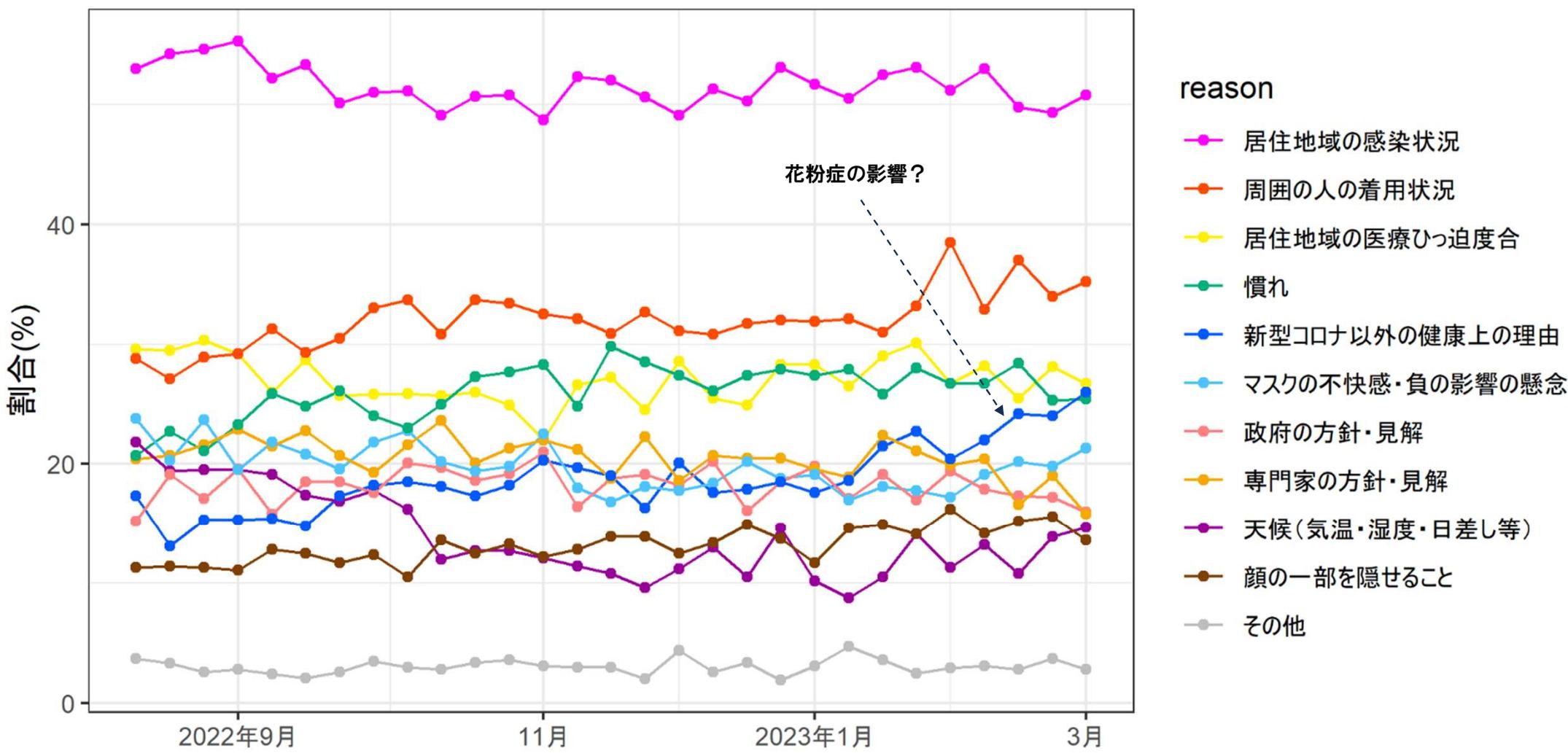
電車やバス等の公共交通機関の中



人通りの多い街中を歩いているとき



3. 判断材料



割合(%)

reason

- 居住地域の感染状況
- 周囲の人の着用状況
- 居住地域の医療ひっ迫度合
- 慣れ
- 新型コロナ以外の健康上の理由
- マスクの不快感・負の影響の懸念
- 政府の方針・見解
- 専門家の方針・見解
- 天候(気温・湿度・日差し等)
- 顔の一部を隠せること
- その他

花粉症の影響?

2022年9月

11月

2023年1月

3月

- Taisuke Nakata is supported by JSPS Grant-in-Aid for Scientific Research (KAKENHI), Project Number 22H04927, the Research Institute of Science and Technology for Society at the Japan Science and Technology Agency, COVID-19 AI and Simulation Project (Cabinet Secretariat), the Center for Advanced Research in Finance at the University of Tokyo, and the Tokyo Center for Economic Research.

- **過去・現在の政策分析と研究**

- <https://www.bicea.e.u-tokyo.ac.jp/>
- <https://covid19-icu-tool.herokuapp.com/>
- <https://covid19outputjapan.github.io/JP/resources.html>